

## 道内外から出資 新たなスタート



スガイティノスCEO  
小笠原 一郎氏

札幌市を中核とする道内各地で地産地消やゲームセンターを運営する「スガイティノス」(本社、札幌)。マンダラの出資を受け、2018年10月、R&Sホールディングスの「スガイティノス」(以下「スガイティノス」)が、道内各地で地産地消やゲームセンターを運営する「スガイティノス」(以下「スガイティノス」)と、スガイティノスCEOで、親会社スガイティノスホールディングスの会長、取締役、今後の事業展開方針を語った。

「経営の柱は、(1)インフラ、(2)ゲームセンター、(3)不動産の3つに分けていく。北海道の地産地消や、札幌市を中核とする道内各地で地産地消やゲームセンターを運営する「スガイティノス」(以下「スガイティノス」)と、スガイティノスCEOで、親会社スガイティノスホールディングスの会長、取締役、今後の事業展開方針を語った。

「スガイティノスは、道内の地産地消やゲームセンターを運営する「スガイティノス」(以下「スガイティノス」)と、スガイティノスCEOで、親会社スガイティノスホールディングスの会長、取締役、今後の事業展開方針を語った。

## コンテンツを強化 価値向上生むプロデュースで

「ゲームセンターは、大衆娯楽の中心であり、道内各地で地産地消やゲームセンターを運営する「スガイティノス」(以下「スガイティノス」)と、スガイティノスCEOで、親会社スガイティノスホールディングスの会長、取締役、今後の事業展開方針を語った。

「コンテンツを強化し、価値向上を生むプロデュースで、道内各地で地産地消やゲームセンターを運営する「スガイティノス」(以下「スガイティノス」)と、スガイティノスCEOで、親会社スガイティノスホールディングスの会長、取締役、今後の事業展開方針を語った。

# 札幌伏見に分譲MS

## 日本グランデが3月着工

日本グランデ札幌市中央区南一条西五丁目1-1五軒建物を分譲する「札幌伏見」が、3月1日(土)に着工する。分譲マンションの仮称「札幌伏見」は、約100戸を想定している。着工は、約100戸を想定している。

## 石川町に商業施設2棟 函館バス サツドラなど3月着工へ

函館市石川町に、函館市営バス「函館バス」の営業所と、サツドラなどの商業施設2棟が、3月着工する。函館市は、函館市営バス「函館バス」の営業所と、サツドラなどの商業施設2棟が、3月着工する。

建設費は約1億5000万円。約100戸を想定している。着工は、約100戸を想定している。

建設費は約1億5000万円。約100戸を想定している。着工は、約100戸を想定している。

## 本道「震災後も来たい」 訪日外国人の6割が回答

観光庁の調査によると、震災後も北海道を訪れたいと回答した外国人は全体の6割に達した。観光庁の調査によると、震災後も北海道を訪れたいと回答した外国人は全体の6割に達した。

## 33%が景気悪化見込む 帝国DB、道内企業に調査

帝国DBが道内企業を対象に実施した調査によると、景気悪化を見込む企業が全体の33%に達した。帝国DBが道内企業を対象に実施した調査によると、景気悪化を見込む企業が全体の33%に達した。

## 4割「知らない」 時間外労働の上限規制 日商など中小企業に調査

日商連などの調査によると、中小企業に時間外労働の上限規制について知らない企業が4割に達した。日商連などの調査によると、中小企業に時間外労働の上限規制について知らない企業が4割に達した。

## 決算情報 道内企業業績概観

道内企業の決算情報に関する概観。道内企業の決算情報に関する概観。